

辻井タカ子後援会だより

2012年
4月

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914

第184号

2004年のマイノートに、“知多バスを富木島小、中学校の道を走らせてほしい。早く通してもらわないと私の命がもたない”と訴え続けられた高齢の会員さんの声がメモが見つかりました。その方は亡くなられましたが、今年からは知多バスに加え、循環バスも走るようになりましたよ。みなさんの署名が議会に届き、時間はかかりましたけどやっと実現しました。大いに利用しましょう。

消費税増税
しなくても

政治の姿勢を変えれば財源は作れる

日本共産党の「提言」大好評!!

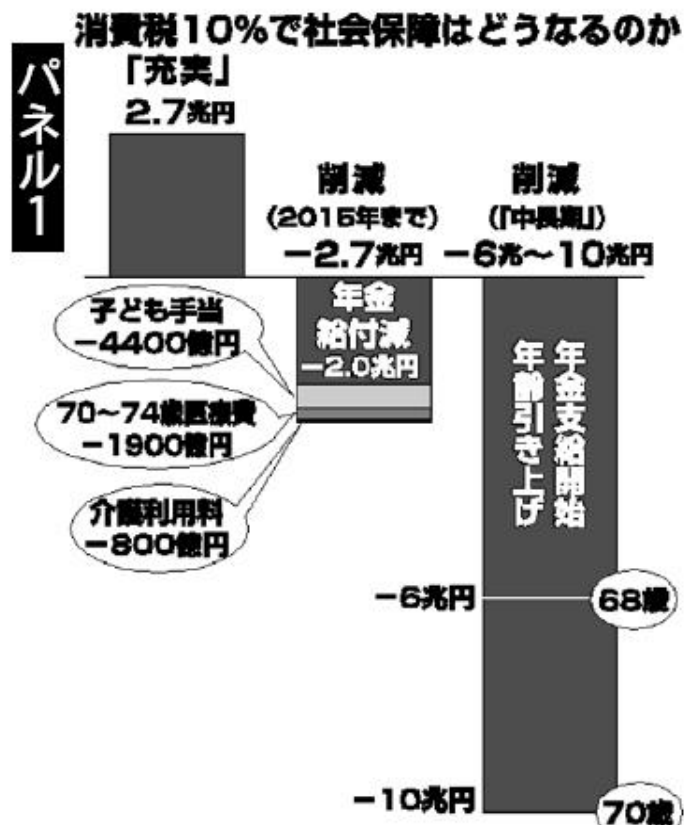
志位和夫委員長が
愛知県体育館へ
ご来館です

日本共産党 1万人大演説会

- ❖ 4月22日（日）
- ❖ 午後2時～
- ❖ 愛知県体育館

直行バスが出ます！
富木診西に9時20分
弁当付きで1,500円

「提言」を詳しく載せたパンフレットが1冊200円で出ています。連絡いただければお届けに参ります。又、「愛知民報号外」でもお示ししています。



出典：「社会保障税一体改革案」および厚生労働省提出資料のデータから作成



辻井タカ子議員の報告

災害ガレキの対応は？



3月議会が23日に終わりました。4月10日に臨時議会が予定されており、後半2年間の委員会の所属など議会人事に向けて会派間の調整が始まっています。共産党は2人のため3つある常任委員会の内、1つ、今年度は総務消防委員会に入れませんでした。共産党議員が空白の委員会の審議時間が短いことや、委員会で一言も発言しない委員がいたり、共産党の議員が2人なのが残念でなりません。

さて、東海市長は県職員を同行して、4月4日から6日にかけて釜石を訪問し、災害ガレキの放射線量の調査を行うと報道がありました。市民から「放射能は大丈夫か」「子どもに悪影響が出る」との不安の声が上がっています。共産党は、膨大なガレキ処理を被災地だけで行うことは困難で、政府が被災地の処理能力を強化することはもちろん、被災地以外の協力を得て「広域処理」を進める事が必要と考えています。

しかし、放射線物質の拡散は、広範な地域に及び放射線物質が含まれるガレキへの対策が講じられていません。東日本震災前は、国際的基準に基づき放射性セシウム濃度が1kg当たり100ベクレルを超える場合は、特別な管理下に置かれ、放射性廃棄物処分場に封じ込めて来ましたが、

ところが、東日本震災後、「当面の考え方」として示された1kg当たり8,000ベクレル以下という基準をその十分な説明も根拠も明示されないまま、広域処理の基準にも転用し、全国どこでも一般廃棄物と同様の扱いとされています。とんでもないことです。

放射性物質については、封じ込め、拡散させない事が原則であり、放射性物質を含むガレキについては、国の責任で処理すべきです。又、放射能に汚染されていない安全性が確認された廃棄物など受け入れる場合も、徹底した情報公開と県民・市民合意が大前提です

● 少々体が悪いけど、上野台にもらんらんバスが走るといふことで期待してしあわせ村へ行った。ところが知多バスと同じ大きさで、乗り降りのステップも高くて段差があり介助をしてもらいながらの乗り降りになった。なんか話が違うぞ…

● 乗り継ぎはいいかと思いきや、次のバスが来るまで随分と待たないといけない。

● 土日祝のダイヤがあるんですね。聞くと以前の土日祝の、早い時間は利用者が少なかったとか：上野台を走るのははじめてなんですが。

● しあわせ村だけは早く行き、回数券を買ってよく利用しています。

● 自分中心に考えるから便利が悪いのだよ。

らんらんバス特集